

特別
子12
3643
71(21)



班女

雲雀山

芦刈

小督

七騎落

故
梅若誠
昭
昭和四年
梅若誠
氏
寄贈

班

女



一面

若女前後
小面

一着附箔前後

一上着唐織

一取雙前後

一雙帯前後

一魚又雙扇前後

一後

前同

一唐織又ギガケ
一ハ子元結

一狂言呼出ス幕上靜ニ歩ニ出舞臺入シテ柱ノ先ニ下ニ

居ル狂言扇ヲ引タリ右ノ膝ノ側へお付ルニ置テ狂言ヲ

女幕へ入狂言入テ扇ヲ見テ右ノ手ニテトリ大変ニ膝へ付

左ノ手ニテシホリナカラ交ヤト謔 一脚上ノ里ヲト面上テ

一 近江路ナレト右ヲウケテ正面出テ開

○不開別シヨリノ神落ト正面ニ出テ

一 其儘キエ又ト

○其儘キエトホリナカラ足ノ下ニサシ橋カリノ方向足ヲ溜テ入ル如斯ニモ櫻川ノ様
シホリナカラ右トリノ下ノ様ニシテ柱ノ際ニテ足トメ 謡又ニテ

下ケ申入

一 口次第ニテ出ル

後

一 一セイ本紙の幕上ニ面ヲウケ見テ身ヲ返シ出橋カリ

一 一松ニテ正面向足トメ春日野ノト謡

一 一ヨシナキ人ニトニ足クダゲ 一 一夕暮ノト右ヲウケ

一 一ウノ空ニト正面ニ出 一 一丈アシカラト静ニ舞臺へ入

シテ柱ノ先ニテトメ 一 一以神ニト合掌シナカラト居

一 一應ステフトヨヲヨシナカラ立 向テ此様ニ立 一 一人シレスコソト踊

ニツフミ出右ニ乗踊ニツフミテ返ヘタラクトサカリ足トメ

カケリ

一 一カケリノトメ小廻リ正面開 意恨メシト左ニテホリナカラ

謡 ヨヲヨシテサシ謡フ

一 一心タニトニダ引 一 一叶ヒハトスエ踊

一 一神ヤ守ラント正面出 ○我ラニテ右ニテ右ト足トメ去如月ハ右リ定延ニテ出テ 一 一月ハ日ヲラシテト開

一 一シラテト左廻リシテ柱ノ際ニテ猶同シ世ト正面開返シ

○祈ナリト正面足トメ返シニ舞トトトス

正面トト身ヲ坐ス 一ウタテヤナト右ヲウケ右ニ上

見 一凡ノ橋ハ二枚モ散ナリト定出見カゴシテモ一葉モ散ナリト下ヲ見 一適ト正面ト坐ス

一坐カナシヤトツレキ念ヲ入コトハル向ニ足ツル 一柵例ノト正面

一ウツナヤトツレキ念ヲ入コトハルヘチヨト向 一ヨシノツレモト正面ト坐

一何レカサキニト正面ト坐シ出 一麻冷シヤトサシ廻シ

トヲ見テ 一弱履ノト柱左ト下リ去中正ト行 湖メントトニ

居ル 一月重山ニト面ト上 一又弱履ト

面伏セ心持 一翠帳左ト面ト上

一今ノ世を渡スラント面ト下ケ 一玄ニテモト五

一夕ノ数ハト右トリノ柱ニテ柱ノ側ト行正面向サニ後口ト

サカリ 一欄子ニトシテ柱トモタレ 一其方ノ

空ヨトト正面遠ク見テ思ヒヤリ 一夕暮ノ秋風ト

去中ヘヨコサシ行中ニテ右ト下リテ 一アノ松ヲト櫓掛リ

ノ方ヲ扇ニテサシ 一我マツ人ヨリト正面ト坐シ

一音信ヲト左ニテシホル 一篋ノ扇ト心ヲ付ケテ扇ヲヒロケ

一風ノ便リト左右ノ手前ト出シ左ヲ先タテ、左ノ方ト行

一窓ノト踵トツフミ 一秋風ト右ヲ高クシテ右ト行

一園亭ノト正面先ト出テ開 一名ヲ聞モト身ヲ引

かし出開 半開ニテ右廻リ 一秋風ト右廻リシテ柱ノ際ニテ

一是モ裏ト右ツケ正面出開 一其酬ニナレハ

イハサヲト踊六ツ右ノリ 一世ヲモトサシテ出角トリ

扇カサシ左廻リ大少前ニテ左右シテ正面出ス

一繪ニカケルト右廻リナカラ扇ヲタミ大鼓ノ方へ行カリ

ハカリ中ノ舞五段

一舞ノトメ扇面ニカサシ月ヲ隠シテ謡

一持名扇ト扇ヲ上右ノ方ニ是出扇トヨリおへツロシテ 左ノ方へ

見 ナカラニ是出 一トル袖エト目付柱ノ方へツカクトニ段目ノ如ク

上ヨリ扇ヲ左トリ 一其イロ衣ノト左廻リシテ

柱ノ際ニテ 一月日モ重ナリト脇正面へ行カリ

一煉風ハフケ共トタビキ扇シナカラ正面先へ出フニ込

一秋ノ際ノト右ノ身ヲ引サセ四段目ノ柳ニ扇ヲ右トリ 扇ヲ右ノ方ニ置キ左ノ方ツケサス右ノ身ヲ引ルニ終極面トテ見ル

正面ノ下ヲ面をヒテ見 一ソヨトノト目付柱ノ ソヨトノト左ニ置キ右ニツケサシカニシテ例ノ如ク扇ヲ持シ

方ニテ右ノ小ツ廻リ 一鹿ノ音ト角ヲトリ左廻リ

扇トリ並シ持大小ノおニテ正面向 一荒ヨシナヤ

舞ヲ右ノ方ハツシテ 扇ト左ノ方ハツシテ 一形見ノ扇ヨリト正面

一形見ノアフキヨリヲト踊六ツ右ノリ 一猶ウラト

正面ニ足出ナカラ扇ヲあへ上ケウラヲ見

一ラモテト扇ヲ下ケテ表ヲ見 一人心ナリトサシ分

シテ右廻リ 一扇上ハソラヲトヤト正面ヘカシ出足トメ

一アハテツ悉ハト後ヘサカリナカラ左ニテシホリ下ニ居ル詠

子テ扇タハミクワラリトスル

一是ハ人ノ筈トツワキヘ 一形見コソト正面

一扇トルマモト扇ヲあへ出シ見テ 見ズモハ時ハ扇懷中ニ 一人ニ見スルト扇ヲ

〇扇トモモト不見ニ扇ヲ懷中ニ持テ右方向眼ヲ下ケ居ル 隠ス心ニテ元ノ如ク膝ニツキ右ノ方ヘ向 一ロシキノ謡ニ

正面ニ並ス 一カクハカリトワキヘ 一何トモト正面

一野上トハト面トケニ考 一帰ラサリシトワキヘ

一末ノ松山ト正面 一形見ノ扇トワキヘ向

ワキ 一身ニツエ持シト扇ヲツワキヘ渡スツレワキ其扇ヲ

シテノ方ヘ持来ル

一トリ出セハト左ニテ扇ヲトリ立テ正面先ヘ出其扇ヲ

ヒロゲ支子ニ持 一ホソク見ハトカシ上ケテ能ク

見 一坎上ハトヒロゲタル扇ヲ左ニ抱ヘ持ワキノ前ヘ

行下ニ扇立シテノ扇スホメタル俣ワキヘ渡ス

一有ツル扇ト扇ヲ互ニアセワキノ扇ヲ見ル

一 巾洗セヨト 立右へトリクヨキシテ柱ノ方ニテ

一文ツトシラレト ハ子扇ノ柄ニシテ扇ヲ口キへ見セ也ニ在

廻リナカラ扇ヲ右へ持 正面へ開返シニ右ウケニ足出 踊

西股ヨリヤウニ扇ヲトリ右ヲ要ヲニギリ腰アタリ其ヨリ付 正面開

ニツフミテトメ扇タニシテ入

ナサケナレ 右 左

雲雀山

一面 深井

- 一 着附扇 前後
- 一 上着 唐織 前後
- 一 髪 前後
- 一 髪帯 前後

一 後

- 前 三箇
- 一 唐織 又キサケ
- 一 髪 又髪解 懐中
- 一 巾花ヲ竹ニ挿ミ右ニ肩ケル 杜若 袴子 山ウシ 浅見 髪帯

一 子方

- 一 着附扇
- 一 上着 唐織
- 一 髪
- 一 髪帯

唯子方地謡座付テ作り物ニ子方入ルヲ引廻シカケ後見
 二人ニテ持出脇座ノ處へ脇ニ面向ケテ又置子方脇ニ面向
 一ニ居ル 後見也ニ引廻シトル

一ツレキ男出名条テ後。一ノ松ニテ呼出ス

一幕上サセ何夏ニテハツト謡カラ出幕ヲ放シテ足トメ

一山崎ヲ中里へ出出ハト園テ男ト入替リ舞臺へ入

一ツレキ男シテト入替リ幕へ入

一舞臺へ入シテ柱ノ先ヨリ作り物へ向テ行去ニテ戸ヲ明ケ

板在トリテ立帰り其申ニテ子方へ向ト辰テイカニヤハト

謡 一余所人ハイカテ向ヘキ、切切ニ正面向

一唯道セハキト子方へ向 一露イッ迄ノト左ニテシホリ

一切切正面向 一余所ノ情ヲト子方へ向テ立作り物ノ

側へ行戸ヲ去去ニテ元ノ如クメテヨセ 一又里へ社

出ニケレト後へカレシサリサセニ正面向右ヲウケテ足トメ

返シヨリ右トリ中入

一ツレキ次才ニテ出 作り物ノ次地濱ノ前ニ床机ニ腰

カケ居ル ツレキ其次ニ居ル

一セイヤ絨波テ幕上 竹ニ系宛ノ様ニ
タルヲ右ニ肩カ 右ヲウケ見テ舞ヲ止シ

歩ニ出ハノ松ニテ正面向足トメサツキマツト謡

一実ヤ首モト足クワケ 一常世ノ國ト行シツカシト

一足ツメ 一我モ主君ノト肩ゲタル花ヲヲロシソウクト

歩之舞臺へ入行カリニ 一吸。ミノト 踊ニツフニ

出右糸 踊又ニツフニ後又タラノトシサリ足トメカケリ

一カケリノトメ小廻リ正面へ花ヲヨシテ開 頃ヲ得テト 謠

一咲卯ノ花ノ杜若ト 正面へ行カリ 一紫ソムルト 正面

上ラサレ廻シツタリト見テ開 一冬香ニト 正面

一花弁サレハト 脇正面ウケテニ足出ナカラ 面をヒ見

一月ハ見ント心ニ引 一ナカラヘテト 冬 踊ニツ

一浮世ヲト右ウケ 一紫モハツカシノト 正面

一森ノ下州ト 正面へ出 一花ナカラト 開

一日頂鏡テト左へ廻リシテ柱際ニテ 一盃橋ヤメサルト

正面へ開 返シニ身ヲ並ス 一サシハ見ハト ツレキへ向

一花檻前ニト 正面 一何レフカユリト ツレキへ

一赤心ヨセニサレト ニ足ツメ 一実面白キト 正面

一惹ムツカシト ツレキへ 一赤心ツトヨト ニ足斗ズカト 出

一イロ。く。く。く。く。く。く。ト 踊フニ返シ右へ糸

一人ノ心ハト 正面へ出行サニ 一枝ニ糸ハト 上ラサレ廻シ開

一目サレシ州ノト 目付柱ノ方へ平身ニテ行 一其方ノ身

ハト 左トリツレキへガカリト向 一包ム事ハナク共ト

一五足斗ズカクト出コトナリ 一越方ナレヤトシテ柱ノ

側へ行左トナリ 一忍フサヲメサレヨヤト花扱ミタル

竹ニ左ノモツエテツレキノ方へ出シ見セオカラガレ出大鼓が右足ニテ
左トトメ返シ
右ヨリ三足出ル

一朝モヨヒトト下ケ正面向 一朝モヨヒトト返シ三踊六ツ

在衆 一紀ノ関守トニ段目ノ板ニヨリ花ノ柄ヲ左

トリナカラ脇正面向方へ出足トメ 一入サカト左ノ花ニテ正

ツサシ正面向先行 一帰ルサカト右トナリ振返リテ

橋カリノ方ヲ見 一イツレニテモトシテ柱ノ側へ行

一ナトヤトツレキ向 一荒花スカスノ人ニヤト左ノ花

ニテ合サシシテツレキ方ガレ出足トメ返シニ其ノ下ケツ

ト字へ背ケテ脇正面向ヲケニ足斗出クワリトスル

一サラハ其花ヲ買トリ以シト空テ花ヲ五並ニ並ニ持ツ

向テ渡ス由物落ルト関テ懐中ノ扇ヲ出シテ持春處ト

謡ナカラ左トナリ大小ノ前へ行正面向立

一春ノ心ヤトツレキ向 一サ切ニ正面向へ並ス
此字不向右ヲ引ニ面必トケ心持シテモ

一アリケルト踊ツツミ 一丈ノミカト正へ出

一春ヲ隔ツルト用 一イツト左ヲケテ出右廻リ

ツツテ 一カホヨ鳥トト行カリ 一ナキウツルト

シ廻シ開 一身ノトニ歩ク 正面身ヲ垂シ 面下ケ心持

一カクテツ 面トケテ 出カケ角ヲトリ 一思ヒノト左廻リ

一花衣ト大小おヨリ中へ出 一野ヲ分ト半開ニテ

右廻リ中ニテ右ウケ 一思ヒハト左右サセ扇トケ面

カサシ上謡 一イツシカニト引テ扇ト 一今ハト

左右ノウツおヨセ左ヲ先タテ左行 一奈良阪ヲ踊

一コノ拍ト右高シテ右行 一余所目ニナリテ

正面先へサ込テ開 一高間ノ山ト正面ヲ言ッサシテ

出キト足トメ 一嶺ツキト見廻シテ右廻リシテ

柱跡ニテ 一雲花山ニト正面ヲ見テ開

一霞ノ烟ニト右ヲウケ正面ツカクト出ナカラ上ヨリ扇ヲ前へ

ヨシ折返シテ要ヲニギリ垂身ヲ開 一谷溪ノト

左ヲ引正面ノ向ヲ要ニテサシテ見 一賜ノクサツキナ

ヲ又ト 踊ニツ右糸 一身ノト角ヲトリ

一露ニカカレト角ノトヲサシテ見 一雨ニト左廻リ

扇トリ垂シテ持大小ノ前ニテ正面向 一海身ノ果ツト

左ニテシホリ 一遠近ノト右廻リナカラ扇タミ大鼓

ニ方行カリハカリ中ノ舞 五段

一 舞ノトメ扇面ニカサシ 遠邊ノト謡ナカラ扇ニテ開

一 タツキモト 左右ニテ出アトヘ方邊開 一 呼子鳥ノト

左トリ木ノ奇ヨリニ面^{中ヨリカシ先送出}向テ出 一 待竹フラント足トメ

一 イサヤトニ西足斗足ヲツツゲサニ橋カリノ方^{中ヨリカシ先送出}向テ扇ヨク

ニカラ行 一 ヤアイカニト^{中ヨリカシ先送出}関テ足トメ立帰リシテ柱

側ニテ口キ^{中ヨリカシ先送出}向トニ居ル 一 人ノカコトヲト正面

一 イカニ市尋ト^{中ヨリカシ先送出}居ヘ 一 何ヲカ尋子ト正面^{中ヨリカシ先送出}ニ

一 誠左柳ニト^{中ヨリカシ先送出}口キヘ 一 サラハコトメヘト正^{中ヨリカシ先送出}向テ立

一行清モシラヌト右ツケ脇ニ面方^{中ヨリカシ先送出}へ靜ニ遠ク行ク心ニ安ニ

出 一 足曳ノト作物^{中ヨリカシ先送出}へ向見付 一 山懐ノト

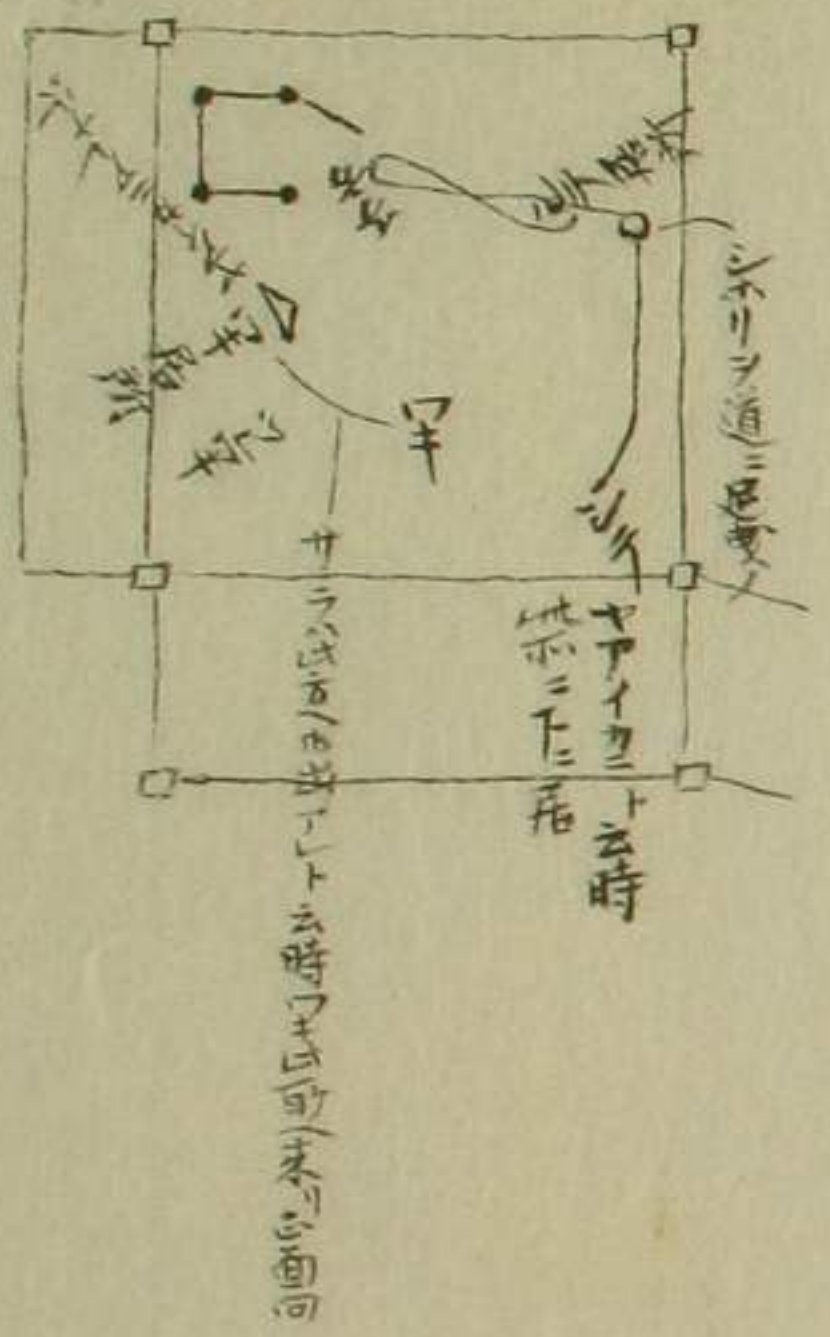
作物ノ前へスル^{中ヨリカシ先送出}ト行友ニテ戸ヲ明ケ^{中ヨリカシ先送出}並ニ右トリテ

目付柱ノ方^{中ヨリカシ先送出}へ退キ左トリ口キ^{中ヨリカシ先送出}へ向トニ居ル 一 唯啼ノト^{中ヨリカシ先送出}

子方 一 戸ヲ明ルト^{中ヨリカシ先送出}並ニ立作物ヨリ^{中ヨリカシ先送出}出口^{中ヨリカシ先送出}キ^{中ヨリカシ先送出}へ向ガシ出

思ハス^{中ヨリカシ先送出}ぬり逢ナカラト云時分口キ^{中ヨリカシ先送出}抱ヘテ一同ニ

トニ居 唯啼ノト^{中ヨリカシ先送出}シホル



一 早トクノトト 面下ケ 仰ヲ兼心 一 乳母内ニシト

立子方ノ側ヘ行ナカラ 扇ヒロケ下ニ辰テ子方ヲ友ニシテ肩

存不流

アタリヘ付テ立タセ 自分モ一シヨニ立 百万櫻川ノ如ク連レテ

行シテ柱ノ際ニテ 扇ヲ平ラニ子方ノ脊ニテ、押ヤリサニ足

横ニ

トメ子方ハ其終歩ニ幕ヘ入 一 奈良ノ都ノト其扇

ヲ也ニカサシ左ヘ廻リシテ柱ノ際ニテ 一目出タキト正面ノ開

返シニ右ツケニ足出 踵ニツフニテトメ扇タニ入

メテタキ

芦 荊

一

放_レ髮

一着附股鬚首 一絛水衣音七 一白大口

一縵紋腰帶 一白骨右後腰 一男ガ竹笠

一襟 花五 一芦叶ヲ竹ニ挿テ右ニ肩ニ

物着

一掛直垂 一縵紋腰帶 一折烏帽子

一小サ刀 一神扇

一連
一面

一着附落 一上着唐織 一髪
一髪帶 一髪扇

一連
一ツレ半ツレ半日ト次才ニテ出露基内ニテ

二行ニ立並ニ向合次才ヲ誦 ツレ左ノ方ニ立半向合

地トリニ正面向 口名糸ノ詞詠テ切ニ以前ノ

口ト向合 道行ノ謡ニテ正面向 先カフ座

波テ口座行脇正面向テ下ニ居

一餘リニ浅ニシキトシホリ 一去ナカラトイハレシ

一彼人行衛ヲト口向 口ノ詞ニテ脇ニハス

一セイ奉越波テ幕上正面向ウケ見テ身ヲ止シ歩ニ出橋

掛リテ松ニテ正面向足トメ足曳ノト謡

一実ヤ所カラト^{見廻シテ}右ヲウケ 一心モスルト正面向止ニ足出

一難波ナルト 芦ヲ肩ヨリ右ニカラ左トリ舞臺入行カリ

一我タニト 踊ニツフニ正面向出右乗踊ニツフニテ謡メラクト

サカリテ開カケリ

一カケリノトメ小廻リシテ芦ヲ肩ヨリ正面向ヨロシテ開立舞

謡 一立舞フト左ノ身ヲ引メニテ踊ニツフニ

目付柱ノ前ニ行又踊ニツ右ヘリ込角ヲトリタル様ニ正

面(身ヲ引ト止シ 一隠レ所ハ左廻リシテ柱ノ側

ニテ小廻リ正面向開舞身ヲ止シサシ謡

一芦刈人トトニ足出 一浦ニ出ト右ヲウケ

一 寒き日ヲモトニ足出 歩切ニ正面ニ引

一 ツレナツテトスル 踊ツ 一 フト浦ト右ヲウケ

一 恨メシヤト 正面ニ直シテ出カケ 一 賤シケレト 用

一 芦タツト出カケ 角トリ 一月ノト左廻リシテ柱ノ

側ニテ 一 猶アリ 顔ノ心ハト 正面ニ用返シニ右トリテ

クツロキ 笠ヲ脱キ 芦ヲ持タル 終 正面向ニ足斗出トスル
後見(後)

一 世方ノ事ニテハカト 足向 一 見ヤセハト 正面

一 サシト 足向 一 我モ昔ハト 正面 一 身ハ枯 芦ト

足向 一 蔭トテト 足ツメ 一 蒸面白ト 正面

一 サシト 壁ハト 足向 一 偕ハ物名モト 正面

一 中ノ事ハサシト 芦ヲ手ト出シテ見 伊勢人ハト 足向

一 サシト イフト 足出ル 一 ムツカシヤト 正面 用

一 ヨシアシモト 至 踊ニツフニ 歩切ニ 兵身ヲ 並ス

一 賤シキ 蟹ハト 出カケ 一 假ノ命ト 用

一 芦ヲトリト 芦ヲ出シ 見左ノ手ヲ竹ニ添テ 持左廻リ


シテ柱ノ 際ヨリ 一 オアシ添テ 召レヨヤト 芦ヲ出シ

見セナカラ 足ノ方 出 大小ノ前アタリニテ 足トメ オアシ添テ

ノ返シニ 足ツメ 一 表ナカラト 左ニ 芦ノ柄ヲ持 右ニテ 腰

九扇ヲ又キテ持ナカラ目付持方へ出テ下ニ居立居テ

サヲおへ出シ 一サヲ刈ト 拍子ニ又極ニ扇ニテ

根ノ所ヲキヤウニ切仕形シテ切りタル所  如是柄上

扇ヲ兼セ 一敷ハ月ヲモト向フ上ノ月ヲ見テ

其終ニテ月ニ目ヲ離サズ立テ三足斗出足トメ

一服ヲシト 女ヲ離チ下ケテ右トリシテ柱ノ際へクツキ

一盃ノウチニト 芦ニテワキヲサレ出テ足トメ返シ具

下ケ右トリテシテ柱ノ際へクツキサヲ捨 正面向出テ

例ノ所ニ立 一忝モ御津ノ濱ト脇ニ面ウケテ

一不思議ヤト 正面向 一サラス何トテト見

一忝モ仁徳ト 正面向 一御津ト書テト見

一更面白キト 正面向 一有難カリシト見向テ語

内ニ脇正面向方へ心付テヤト 顔ヲ先タテ脇ニ見 一アレ内覧

セヨトトクト向 一エイヤノトト出サレ付テ開

一名ニシオフト 正面向返シヨリ出カケ 一大宮ト

角トリ 一ウチと開ユト左廻リ大鼓ノ前ニテ

一登ノ呼声ト 正面向 一古歌ヲモト見テ

テ出左ニテ見右ノ袖ヲトリ正面向カケテ出

笠ニテサシ正面へ出左ノ身ヲフミ込サニ笠ヲウツムケニ右方へ

上ケ頭ヲニ復フヤウニシテ 一ヒケ笠ノト左ヲ引左ノ膝ヲ

ツキサニ笠ヲ仰向ケニ右脇ノ下へ抱入ルヤウニシテ左ノ身モ添

一雨ノ足邊モト立左廻リシテ柱ノ方へ行カカラ上ヨリ笠ヲ

支ニ仰向ケテ持左トリワ座ノ方へ 一アノメへト

笠ヲ先メテ行サラ。ト 踊ワフニ 一コナト目付

柱ノ方へ又笠ヲ先メテニ足出サメ。トサラ。ト 踊

フニ笠ヲトケ右ニ提テ右廻リシテ柱ノ隙ヨリ

一サラくサツトサシテ角ヲトリ 一風ノアゲタルト笠ヲ

上ケテ上ヲ見左ニ左廻リシテ柱ノ側ヨリ 一後捲モノキト

脇ニ面へ必し出足トメ笠ヲかへヨセ左ノ身ヲ笠ノ内へ入レ後口ニ

くトサカリ右ノ膝ヲ手ヨトキ胡座シテ 一心面白ヤト

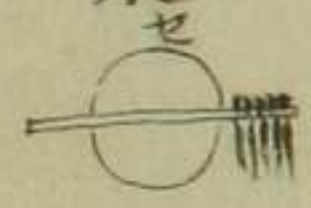
面上ケケラリトスル

連

一イカニ誰カアルトワキ方へ向テ諷畏テトトサテ脇ニ出

一イカニヤトトサテ居立口ニ向 一畏テトト云テ立右へ

トリクツキシテ柱ノ側ニト居笠ヲ仰向其上へサヲ乗



如是ニ支ニ持テ立正面向テ出出口ニ向サラハサヲ乗ラセ

ラレトト出ス 一イヤ唯直ニ乗セラレトトサテ正面向テ出

板ツレ方へ向顔ヲ不見ツレ前へ行下ニ居テ草ヲサシ出シテ

ツレノ顔ヲ見テ肝ヲツブレ草ヲ其終向フ捨面ヲ下ケ左へ

ノマツテト膝ヲ立カへ笠ヲ右ニ提名終立橋カリへスル

途中極ヨリ先ニテ脇正面ウケテ胡座カキ面伏セ居其心面白ヤト云所ノ妙

連

一今ハ何ヲカトワシ

一是ハ夢カヤト云ニホル

一イマ暫トワシ

一此系有フスルト皮テ立橋

カリツ方へ向歩之行シテ柱先ト松ノ前ニテシテ見

イカニ古人ト謠ナカラ下ニ居ル

一実ヤ難波津ト面ト

一隠レテ住メルト坐左ニ持立

一押アケテ出ト正面へ向ニ出

一オモテノ我ト我形ヲ

左リ右ト引テザツト見

一ニトセハ歩ニ行舞臺入 後見座ノあテ笠捨ル

連

一ニトセノヨリ立舞臺入元ノ座ニテシテ向シテ

一シト下ニ居 口ヲ訶ニナリテ腹正面へ坐ス

一松原カヤトシテ柱ノ先ニテ正面へ足トメ 一本陰ニト

ツレへ向去中へ出首激ラント謠ハイニ下ニ居極正面向

一先ト為帽子垂垂ヲ召レハト聞テ立 後見座へツツキ下ニ

最物著

物着

一水衣ツ晚キ掛垂着ヲ着小刀サシ折鳥帽ヲ着

扇ヲ持

一物着ノ内ニ狂言出テワキト應對凍テイカニ左衛門

殿示並新召レハハアレ出候云也

一狂言退テ之何更ナク正面向歩ニ出スト地謡クリヲ謡出ス

舞臺入ニテ柱ノ先ヨリツレ方向去中へ出下ニ居正面向

曲ノ前 曲ノ中 ツレ向 巾切ニ正面向へ出ス

一然レ八目ニ見へ又ヨリ立正面向出テ用 一夫婦ノ情ト

左右サ込扇ヒコケ面ニカサレ上謡 一夢ナレヤト扇

上ナカケ引 一サ芳枯葉ニト左右ノ前へヨセ左ヲ先タス

左行 一風渡ルトト踊フニ 一浪ノト右ヲ高シテ

右行 一浅カルレシヤト正面向先へサ込用

一濱ノ去袖ハト正面向下ヲサレ廻シ用 一晝ストモト右へ

廻リシテ柱ノ際ヨリ 一唯モテアワヘトサレテ角ヲトリ扇

カサシ足トズ左廻リシテ柱ノ側ヨリツレ向縁ヲソ嬉シカリ

ケレト謡ハイニ去中へ出下ニ居扇タニ 一サラハ舞フ

スルトト半へ向 一今ハ恨モト正面向 一立舞フ袖ト

並垂レ左右ノ舞ヲトリ居立居ルヒツヒヤリヤリト笛フキ出ト

連舞シ立テ左右ヲサシ扇ヲ正面(身ヲ垂シ)男舞 立段

一舞トメキ上左右ヲ出用 一ウキ^ト舞^ト 踊ニツフニ左右

ニテ出アト引テ出用 謡返シウキニ正面(出カケサシテ右

ウケ正面先(出 一茶^ヲ採^ル 蹴^ルト 左(引込) 踊フニ並ニ

キリト右トリアト廻リ 一月モ残リト正面(ソメイロ

扇シテ用 一花モ整リトニ引シテ角ヲトリ左へ

廻リ中ニテ 一今春邊トサシ分シテ連ノ立歩ニ行

込ヘサシテ行橋カリノ方向サ右ヲウケル様ニシテ扇ヲ右ノケ

一ニツクヲ整リトシテ様前ヘ引込 踊フニキリト右(廻リ

正面(用左袖カケシ右ウケニ足出 踊ニツフニテトメ袖モトシ

扇メニ入 嬉シケレ

連 一コヤノ住居ノト立シテ様方(向歩ニ行其俣

橋カリ幕入

小督

一

一着附白キ袴淺 一單狩衣

一腰笏 一風折烏帽紙子 一神扇掛緒

一後

前ト同シ 但レ 狩衣袴テ神ヲシホリ脊ヲ落テ結ヲ 一文懷中 一鞭右持

一連二人 一面女

一着附箔 一上着唐織 一雙

一雙笏 一雙扇

一甲出名案テ後一松邊リニテシテ呼出ス

一仲國ノ渡リカト云時幕ヲと准ニテ渡リカト云ナカラ出幕ヲ

ハナレ 一是ハ宣旨ニテト云ト下ニ居友ヲツキ平伏

スル 一此御書ヲ與ヨトト口ヲ文ヲ持來ル時テト記キ

右ノハツキ名俵左ニテ文ヲ清トリ左ニ高ク持宣旨畏テ平伏シ

一相渡減ニテト記キテ右ノハツキモ上ケ口ヲ見ル 一今夜ハ八

月十五夜ト正面向 一小督ノ局ノ水洞ト口向

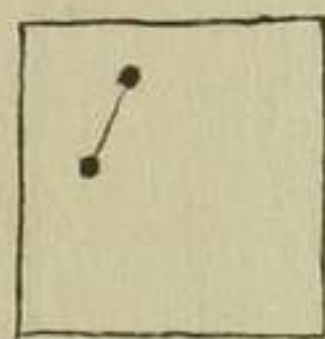
一ハ心易ク思石セト右ノハツキ平伏スル 一此テ出ルヤト

記テ正面向立返シヨリサラクト藤臺入シテ様ノ先ニテ

一急ノ心ノ行衛ト正面向立返シ右トリサラクト階々ツメテ

申入スル 口ヲモ入ルシ

シテモ口ヲモ幕入テ後
作り物ヲ後見ニテ持出



如斯ハ座ノ前ハスエニツキ

其後後見座ヨリ袖垣ヲ持出柱ノ左右ニ並ニ座キ後見退クト



一連 小督ノ局トモ女狂言ノ女何変ナク出作り物ノ明テケ

入り口座行口正面向下ニ居ルトモノ女作り物ヨリ入房

元ノ如ク引ヨセ板地湯ノ前へ行局ト必シ間ヲツキテ同ル

口正面向下ニ居ル狂言ノ女作り物ニふ挿笛トトへ行テ

其處ヨリ小督ハ琴ヲコノム而シテ実ヤ一樹ノトサシ湯

女湯ノ内都テ連ノ所化ナシ

一 後
一 セイ本越関テ幕ヲと右ヲウケ正面ヲ見テ相身ヲ出橋

カリフ松ニテ正面向向開身ヲ出シ荒面白ト濁

一 狼ノ歩ミツ心セヨト右腰ヲ引下ヲ見馬ヲ 一 小鹿ナクト

面ヲウケ身ヲ出シ 一 狐山里トト右ヲウケニ足出

一 源藏野ノ方ノ焔ノ空ト右ヲヒカクワ座ノ上ヲ見エ

一 サコソ心ト正ニ出シ 一 名月ニ鞭ヲとテト左右トニ足合サ右ツ引サカサ鞭ヲ

上ニアゲ 一 駒ヲハヤメト左ノ足ヲ見ヒ如シテ馬ヲ鞭ヲ下ケ

一 急カント面ヲと正面ニ足出 一 賤カ家居ト正身ヲ出

一 モシヤト思ヒト左ヲ引ツヤウニテ太鼓座後見座ノ邊ニ見廻シテ

ニ足出 一 爰カシコニト舞臺ヲ見込橋カリヨリ

一 駒ヲカケヨセト大小前ニテツカクト行又カケヨセト正正面

方ニ角カケテツカクト出 一 ヒカヘト正面向ニテ引シテ

一 聞ケ共ト面ヲ出シ下ケ聞心 一 琴彈人ハナカリケリト面ヲ

身ヲ出ス 一 月ニヤアツカレト左トリ中ニ行

一 汰輪ニ赤レハト正面向向出シ出テテチヨトメ 一 琴ヲコフ

聞ヘト右ヨリニ足出琴ヲ出 一 峯ノ嵐カト目付松友

角カケテ開角ト上ラ見エ 一 松風カト橋カリノ松ヲ鞭ヲ

サシシテ柱ノ側ニテツカクト行ヨ見 一 尋ヌル人ノ琴ヲ

青カト左トリ作り物ノ側へ静ニ行正面角カケテ向

一樂ハ何ツト聞タレハト右少引左ノ耳ニテトクト皮

一嬉シキト面ヲ上身モ垂シ疑ヒモナキト云 一案内ヲ申サ

スルニト云ナカラシテ柎際へクヨキ鞭ヲ捨左リトリ作り

物へ向イカニハ戸ト云

一連 淮ヤ門ニトモヘカシ向キ云 トモ小督へ向中ニ

トカクト立テ出作り物ノ戸ヲ押アケ垂ニ立候リ元ノ

座ニ居ル

一門サレテハ叶フミシト扉ヲ押へト作り物ノ側へ行押へト左

手ニテ戸ヲ押へ 一是ハ宣旨ノ由使ト早座ヲ見込

テ云

一連 ウツノナヤトシテ向面ヲ合セズ

一ウツノナヤト小督ノ聲ヲ作り物ゴシニ坐左ノ手ヲ下ケ云足斗

後(サガリ)作り物向立テ居 一イヤ如何ニツマセト小督ノ

方へシカト向面合セズ 一ヒツカニ傳へトシカトコトハリ定斗

静ニ出 一隔テ給フヤト正面(垂)シ 一ヨシサスハトシテ

柱ノ側へヨヨキ 一今宵ハト早正面ウケアシ座シテ居ル

一アルシイサシラスト 面斗ニテ作り物ノ方ヲ見 添面也ス

連

一トモ女小櫛(向テ)仲國市目ニカヲシト云 小櫛モトモノ

方向 一餘リノ夏ノトヨキ正(向) 一サス以方(申)ト

トモ(向)トモ女立テ出仲國(向)サス以方ト云

一膝立トモ女(向)畏テト云 右トリ後見(ク)ヨ

一トモ女元ノ座(行)下ニ居

一後見座ニ下ニ居 狩衣ノ露ヲ後見ニ解セ 女袖ヲ入サセ扇ヲ持

以内後見出作り物ヲタニ持テ入

一立正面(向)出シテ柱ノ内(入)小督(向)去中(出)女ヲツキ平伏

シテ初定ニ任セト云 一忝クモト扇ヲヒラキ懐中ヨリ父ヲ

取出シ扇ニシテ左持親エヒニテ 立テ小櫛側(向)持行下ニ居立

扇ヲ下置キ父ヲ扇ノ中へセ扇ノ要ノ方ヲ小櫛前(向)テ差

出ス 忝クモト是迄持テ来テト云 迄ニ父サキヲスル

一ヲソレナカラト立添ヘシサリ申程ニテ下ニ居 一巻シ

平伏ハント 女ヲツキクリニナル迄 平伏シテ居ル

小督

一父ヲ取左ニ持見テ正面ウケテ向本ヨリモ辱ケナカリ

シト諺 一添サハ深キト父ヲ見 一同コソト

右ニテホリ 一ツリニ扇アル方(向)父ヲ扇ニシテ右ノ

眼ニ置キ 祿軍ニ向

一クリニ返シテ正面ニ立ス

一中々ナリシト小樽シテ向シテモ向返シツキ平伏 扨切ニ返

テ立ス 一風ノツテ送ト小樽シテ向シテモ向返シツキ

平伏人ノ國送ト返テ立ス 一イトモカシコキト

小樽シテ向シテモ向返シツキ平伏

一扨切ニ立セ名扇前ニ出シ要ノ方ヲシテ向ケ置ッ

一ツセトモ平伏シ名俣ニテ是迄ナリヤト起テ立小樽ノ前ニ行

下ニ居立扇ト立テ左ニ持添左ニ高クシ 一取眼ト右ノ

ツツキ平伏シテ 一立出ルト立右トリ元ノ如ク中

行角カケテ向ト下ニ居ツレノ識内ニ扇ヲ下ニ置文ヲ懐中シ

扇ヲ右ニ右ニ持小樽ノ方ニ向返シツツキ平伏スル

小樽 一ツセトモヨリシテ向居 一名錢ソト慕ヒテ

落ルトシホリ

一途ノ舟車ト記テ右ヲ以メニ居立 一似テコソ来ラ

メトト 扇ヲエケテ後ヲサシ 一イトド名錢ノト小樽ニ

返シツキ平伏

トモノ女 一イトド名錢ノ心トテト扇ヲヒラキ酌ヲトリ立テ行

用主綴シキト在ト意ナリキチシ年駒シト下ヲ見
自今第カキト云々
相違懸テバカトキト南キ
ワツナヤトツシテアト入ナリ
カケ合向ナリ
ロソカキト入ナリ
カケ合向ナリ
ロソカキト入ナリ
カケ合向ナリ
ロソカキト入ナリ

シテ前ニ下居ニシテツグツギテ也ニ立左トリ

扇々ニ元ノ座ニ行下居

一酒宴ヲナシテ扇ヲヒキトモノ女向女ニ持酒ヲウケテ

正面向 一 一聲スミワルト扇々ニ立 一月夜ヨリト

右廻リ大鼓ノ方ニ行カリハカリ男舞五段

一舞ノトメアトハ小廻リシテ正面向扇面ニカサシコカラシニト揺

一笛ノ音ヲト扇ニケテ開 一引トムト 踏ニツフニ左右

ニテ出アトハサ込用身ヲ也シ 一我ラカ身迄モ物思ヒ

ニト角トリ 一立舞フヘキモト左ニ廻リシテ柱ノ際ニテ

一今ハカヘリテ嬉シサヲトワキ正面向ニ足斗出 一何ニ

ツニシト小持ニ向出申ニテ 一袖ウチ合セト左右ト

引ナカラ袖ノ露ヲハラヒト居 一巾服ヲ平伏

一急ク心モト立也ニ正面向引 一イサメハ駒ニト角

カケテ立六足出右ニテ舌ト足トメ右側ニ馬居心ニテ面斗

ニテ右ヲ見 一ユラリト打窓リト右ヨリ窓リサニ左鼓

座向也ニユタヤカニスラクト橋掛リニ行幕キハニテ右トリ

廻リ正面向袖カエシ歸リケレト右ウケニ足出トメ扇々ニ

幕入

小巻
一何ニツミシトシテヨリ向時シテ向合

一海ハルクト小巻ハ見オシリト立テシテノ行ヲ止シ

出テ見送り福海テ二人在ニ入

七騎落

一 之テ

- 一 着附股厚板
- 一 一汰被
- 一 半切
- 一 紋腰帯
- 一 太刀
- 一 梨子烏帽子
- 一 白鉢巻
- 一 神扇

一 頼朝 田代朝 岡崎 三人

- 一 着附股厚板
- 一 一汰被
- 一 半切
- 一 紋腰帯
- 一 太刀
- 一 梨子烏帽子
- 一 白鉢巻
- 一 神扇

一 土屋 二人

散髪

- 一 着附厚板
- 一 側次
- 一 大口
- 一 紋腰帯
- 一 太刀
- 一 白鉢巻
- 一 扇

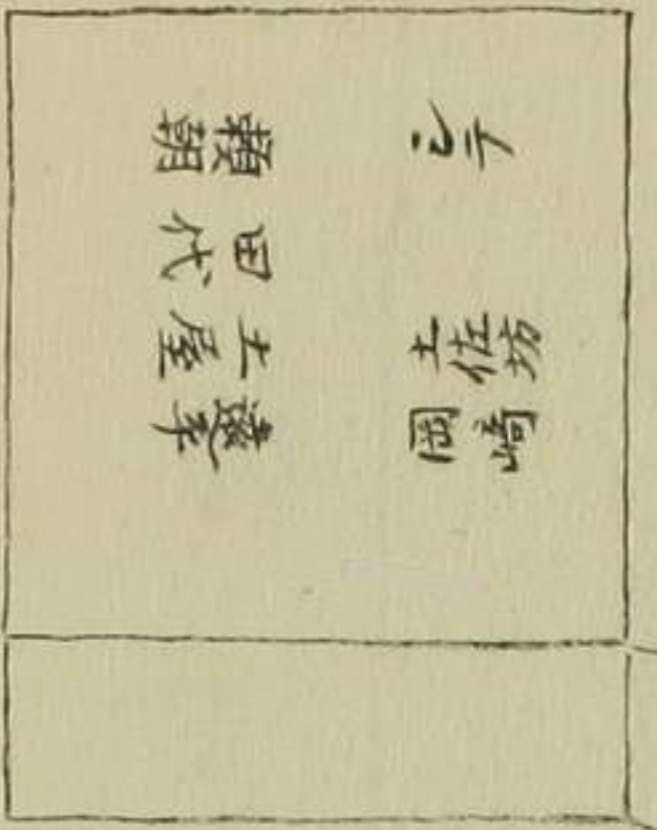
土佐坊

- 一 着附厚板
- 一 側次水初下
- 一 水衣
- 一 半切
- 一 紋腰帯
- 一 太刀
- 一 扇帽子之内
- 一 扇
- 長範頭巾

子方遠年

- 一 着附厚板
- 一 側次
- 一 大口
- 一 紋腰帯
- 一 太刀
- 一 利本方烏帽子
- 一 白鉢巻
- 一 扇

一次第二段幕上 頼朝シテ田代シカイ土屋土佐坊遠年岡崎出



舞臺内ニテ向合次ヲヲ諺
地トリニ皆々下ニ居立頼朝斗
正面向

シテ

一 舞臺入目付柱方正面先迄出足トメ正面ハ心ヲウツシ正面ヲ見テ

左トリニカエリ頼朝ト並ニ面向立元ハ残立揃込待居テ大鼓

エノ聲ニテ一同ニ向合次ヲ諺地トリニ下ニ居立

頼朝
一 地トリニ正面向テ名宗 安房ト徳ノ方ハ用カハ存心ト

左右ノ身ヲ前へ出シヨセニ足出左右ノ身ヲヒキ足クソケ

イカニ土肥ノ次郎ト云ナカラシテハ向急ヒテ呂レラスルニテ

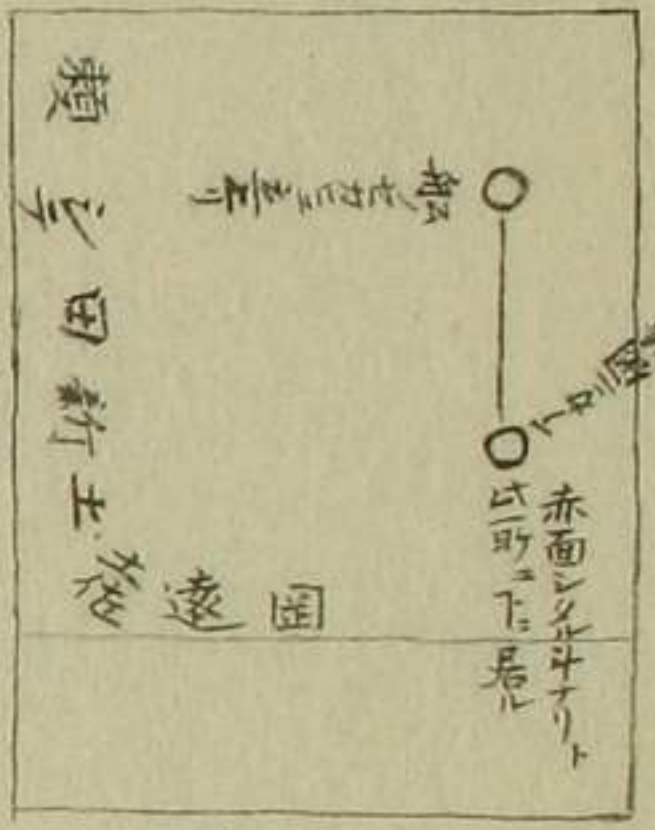
候ト波テ甲座へ行甲正面向床机ニ腰カケル

シテ
一 イカニ土肥ノ次郎ト云ニツキ平伏シテ前ニ下ト云

一 トノヨリ内船ノ交ヲ付テト云ニツキ平伏シテ前ニ下ト云

一急ニテ召サレト平伏シ頼朝早度行續ヒテシテ立戻皆々立

頼朝ノ次ヨリ地濱ノ前苗大小前進次才ニ並ヒ着座



頼朝
一イカニ實年トシテ向 急度思ヒ出シ名宣アリトワキニ

実年斗ヒテ船ヨリ一人オロシトシテ

一イカニ實年ト頼朝向女ヲツキ平伏 一急度思ヒ出シ名ト

女ヲツキテ居 一実年斗ヒテ船ヨリ一人オロシトシテ女ヲツキ

平伏ヒテ畏テト云テ女ヲツキテ向立サニ実年仰兼リト

云ナカラ出船ノセカニ立上リト目付柱ノ前ニテ 一市供ノ

人数ヲ見渡セト左トリ立戻向先一番田代殿ト云ニ番

三番ト次才ニ見 一四番土佐坊ト云ト見テ返ニ正面向テ

實年ト云六番ト子方向 一供板ト岡崎向

ニ足ツメ 一其人々君ノ爲ト元田代迄見廻シ返シ切ニ

正面向 一何レヲ撰ミ出サント又立戻ノ方向田代ヨリ

岡崎ト見廻シ 一サレモノ実年ト正面向 一赤面

シタル斗ナリト面伏セテ御シテ返シ諱ハイトト展立

頼朝
一イカニ實年何トテシテ

一イカニ実年ト頼朝(女)ヲツキ平伏シ畏テト云畢リ起キテ岡崎(向)
イカニ岡崎(向)ト云岡崎シテ(向) 一ニツ持ル謂ノ以歟
改メ岡崎(向)トハル

岡崎
一昨日石橋山(向)正面向 見ヤセ土肥殿コトシテ(向)

シテ
一キノ石橋山(向)岡崎ノ云ウチ正面向半座ノ方(角)カケテ(向)

一見ヤセ土肥殿コト岡崎ヨリ向トキ(向)合 一餘リノ道

理(物)十宣ヒリト云捨テ子方(向)イカニ遠年ト云遠年シテ(向)

一言語道巧ノ変ヲ著哉ト色ヲ作テ云 一君(也)為父

カ命ヲ(省)兵オリニシヒトヤカト云テ子方(前)行下(居)立

サマ麻ヲ捨 一其(後)ナラハ人(也)六掛ニシヒト左ヲ引

太刀ノ柄ニ在イヨリ掛ケ子方ヲニラム

岡崎
一暫クト麻ヲ捨居立(也)ニテシテヲ押テ止何ク迄モ某

誤テトシテ寛メテヨリ引麻ヲ持元ノ如ク也ス

一何ク迄モ某カ謬テト太刀(也)ヲ放シ躰ヲ寛メ 一取(論)アリ

マシキ者ヲト云ナカラ麻ヲ持テ立 一某(也)船ヨリオリヤラス

ルニテト云ナカラ右トリシテ柱ノ方ヘクック

子方
一某(也)船ヨリオリヤラストシテ行(論)ヨリ續ヒテ立四五足

斗先(出)テシテ(向)イカニ(向)サス某(也)船ヨリ(向)シト云

シテ
一シテ柱ノ隙ニテ子方云掛名時足トメ子方何トオリヤラスト

申カト云 一實今テコソ某カ子ニテムト云ナカラ子方側へ

行在^ル子方肩ハカケ在^ル子方前へアテ抱テ橋カリへ連

行^ハ松ノ下^ニテ子方ヲ在抱カエテ脇正面へ向ケ置キ^ルハナシテ

柱ノ方ニ足^ヲツツケ脇正面ヲ遠ク見テアレヲ見ヨ歎大勢オ

出タリト云オシエ 一構へテ某カ子ト名乗テト子方へ向

一名残コソ惜ケレト面伏セテ左トリ舞臺へ入サマシテ柱ノ隙ヨリ

カリテ我子ヲオロシ^キト謡ナカラ行頼朝ノ次キへ元ノ如ク座ス

子方
一父ノ別レハ申ニ及ハスト舞臺ノ方へ向彼松浦ト正面向

仏ヲ見送りイメハト舞臺ノ内へ向心ツヨクモ行ク

佛ニト云ヨリ左トリ後見座へ行クツツキ下ニ居

立流
一皆涙ヲツ流シケルト立流一同面伏ル

一心強クモ行^ル仏ニ歎大勢見ヘタリト立流一同橋掛

へ向見 又不構不見ニモ

頼朝
一頼朝モ憐ミ陸ヲ見給ハト橋掛リへ向恩也ノ

子キリモト 静ニ坐ス

一実年ハ碓辺ニ向ヒト橋掛リノ方へ向見 一飛立斗リニ

思ヒ子ノト氣ヲ張り躰ヲ延ヒ思ヒヤリテ見 一別レツ

哀ナリケルト面ヲ依テ静ニ膝脇ニ面面ニ臨テ面出ス

一 口聲ニテ出フ松ノ先ニ立

一 半一聲ノ遙ヨリ見合セテ互ニ狂言ニテ句ノ遙時分脇ニ面面ニ出

目付柱トシテ柱トノ中程ニテ橋カリ向口ヲ見口ノ内ニ

左トリ岡崎岡崎ニ向トニ居テイカニ山アヒニ兵船一艘見見テ云

然レハウトトツテ互ニ右トリ己前ニ立テテ口口ニ向イカニア

レナル舟ハタカ召召レタル云 一 叔君ハ其内舟ニ座座カ

聞テ正面向和田内々内々合セ名変名変ト岡崎其外立立テ云

心持音聲ヲ音聲ヒクニ云テ可然 一心ヲ見見スルニ云云

畢テ又口口ニ向イカニ和田殿和田殿ト云 一口キ腰ノ刀ニ

トツカス時ア暫ク右ノ出出テ止メ君ハ其内舟ニ御

座座トヒク 一 サラハ頓テ陸陸ニ参ラフスルニ云云聞テ

左トリ口座ト笛座トノ中間立立テ前前ニ行正面向角カケテ向

下ニ居口キ橋掛リヨリ舞臺舞臺入りシテ柱ノ際際ニ來來時分口口キト

見テイカニ山山ノ前ニテト角カケ向名俣名俣支支トツキ平伏ス

一 我君ヲ拜拜ニ奉リト口ノ内ニ立立テ口口ニ向 一 イテ土肥

殿ニ引出物カサント口口ニ立テクツト時正面向面向ス

一 遠平ヲ引立見セケハト後見座ヨリ子方ヲ連出

シテ柱ト目付柱トノ中程ニテシテ向ケテ立セ置キ夫ヨリ
目付柱ノ前へ行下ニ居

一見セケレハト子方ヲ見テ其時交卒アキレツト云 一夢カ

現カト立テ子方前行ニテ子方ヲ抱エ下ニ居立面伏也

一譬ハ八仙家ニト二人共立子方ハ己前ノ如ク岡崎ノ側へ行座ス

シテハ右トリシテ柱ノ際ニツツキ左トリ謡ハハニ元ノ座へ行下ニ

居 一ヨキ向テイカニ和田殿ハト云ヨキ語ニ正面向テ聞

語トトメヨキ向 一嬉シ泣ノ涙ハト正面向ス 一日モ

夕暮ニ成ヌレハヨリ扇ヲヒラキシヤクニ持テ立頼朝行下ニ居立

酒ヲツギ頼朝扇ヲヒラキ 一主後トモニ悦ヒノトヨキ前へ行

下ニ居立酒ヲツギ扇ヲメニナカラ立 一心嬉シキ酒宴哉

左トリ大小前行右トリ正面向下ニ居 一畏テハトヨキ

一心嬉シキト正面向也左右袖ヲ拂ヒ余情シテヒヲヒマリヤリト

笛吹キ出トキ居立テ違拜シ立テ左右ヲサシ扇シテ正面向身ヲ

也男舞 五段

一舞ノトメカ也左右カ返用 一カクテト踊ニツフニ左右

ニ出出引テカ返用謡返シノ中ニ正面向返行カリ

一國々ノ兵馳来スハトサシ廻シ脇正面向廣ク見テ聞

一 程ナク内勢二十萬騎ニ成リ給ヒツト 頼朝へ向テ出陣

一 掌ニ治メ給ヘル畷君ノト 五ノツキ平伏シ

頼朝

一 平伏スルト立成ニ出橋カリヨリ幕へ入

一 目出度キ始メト 立サレ麻ヲ頼朝行ノ跡へヨリシテ桂ノ方

へ向サレ右ウケル様ニシテ麻ヲ右ウケシテ桂ノ前へ道ニ入ルトリ

返踵フニキリト右廻リ正面へ用左ノ袖返シ右ウケニ足出踵

ニツフミテト袖モトシ扇メニ入 久シケレ



